



SREPORT サステナブルレポート No.103

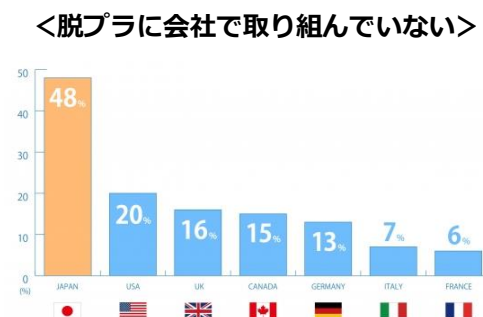
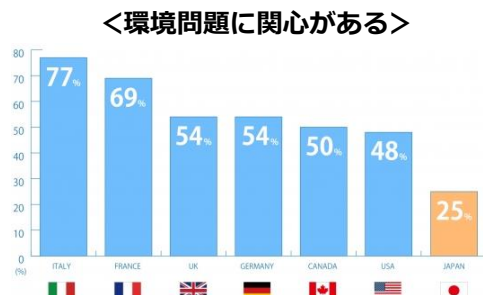
変化する自然環境と 日本の環境教育

環境教育

■ 認知と貢献の考察

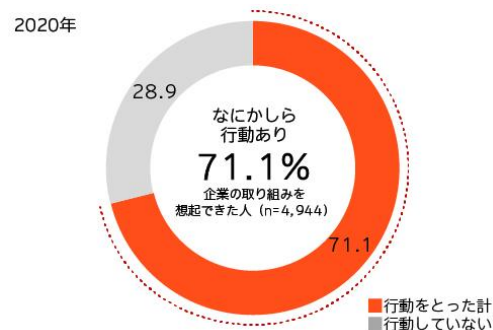
- 環境問題について、G7他国と比較して**日本企業には意識が低い**という調査結果がある。
- 関連の深い「SDGs」に対する**生活者認知は4割**に迫り、行動変容は消費活動に現れる。
- 認知度と貢献度は比例しない。**組織の中でアクション**を起こすにはハードルがある。

■ 意識調査結果



出典：ウォータースタンド株式会社, 2019年6月
「マイクロプラスチック問題に関する国際比較調査」

＜上：SDGs認知率／下：企業のSDGsの取り組みを知り行動した人＞



出典：企業広報戦略研究所, 2019年9月「2020年度 ESG/SDGsに関する意識調査」

課題解決に向かう当事者意識の根本姿勢は「環境教育」で培われる

■ GLOBE Program —環境のための地球規模の学習及び観測プログラム

- 全世界の個々人の環境に関する**意識の啓発**、地球に関する**科学的理解の増進**を目的に、学校を基礎とした国際的な環境教育のプログラム。
- 1994年にアメリカのゴア副大統領の提唱により事務局が作られ、123カ国が参加。（2020年7月時点）
- **世界各国から観測データ**が集まり、リアルタイムな地球環境イメージが作られる。

■ The GLOBE Program Japan

- 文部科学省を中心とした指定事業として「**環境のための地球学習観測プログラムモデル校指定事業**」を開始
- **公募**に参加申請し、採択されると指定校として参加可能（第13期には国内の小中高等学校**12校**が参加）
- 地球環境について複数分野を**調査、結果報告**を行う。
（大気調査/水調査/土壌調査/土地被覆/生物測定/生物季節）
- 継続的な観測を通して、**身近な自然環境の現状**を知り、自然環境について考える機会を持つことができる

■ 指定校：多摩市立連光寺小学校（東京都）

GLOBE活動 取り組みについて

①環境教育の全体計画

- ◆1～2年生：周辺の自然環境での体験学習
- ◆3年生：地域の自然や施設での体験・調査活動
- ◆4年生：里山の水の流れを追い、玉川調査
- ◆5年生：里山の森林学習と谷戸田での稲作体験
- ◆6年生：発電を中心にエネルギー学習とSDGs
- ◆**環境委員会：GLOBE活動**

②GLOBE活動（環境委員会）の実践

- ・ 毎日の気象観測と掲示
温度、湿度の計測／雲の量の観測／降水量調査
- ・ 資源の使用量の調査
- ・ 朝礼や生活、総合的な学習の時間発表会での発表
⇒**児童の環境への関心の高まり**

出典：多摩市立連光寺小学校 中間・最終報告書を基に著者作成

全ての教育現場へ平等に知る機会が提供されていないのが現状

■ 教育の場を通してSDGsを学ぶ

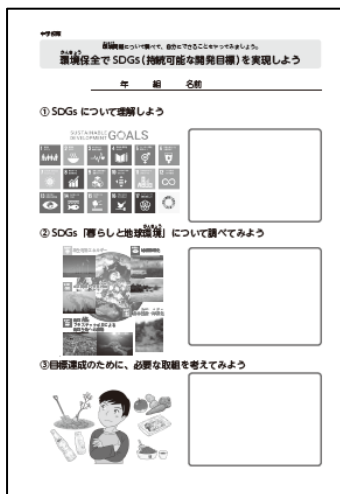
- 改訂された**新学習指導要領**には「**持続可能な社会の創り手の育成**」が明記され、小中高等学校で2020年度から順次実施されている。
- 学習指導要領とは、各学校が教育課程を編成する際の基準として文部科学省が定めるものであり、世界情勢や社会の変化に応じて、およそ**10年に一度改定**される。
- 環境教育を取り扱う教科は多岐に渡り、様々な面から学ぶ時間が設けられている。

■ 環境教育教材



出典：東京都教育委員会

■ 就学前から環境について知る機会



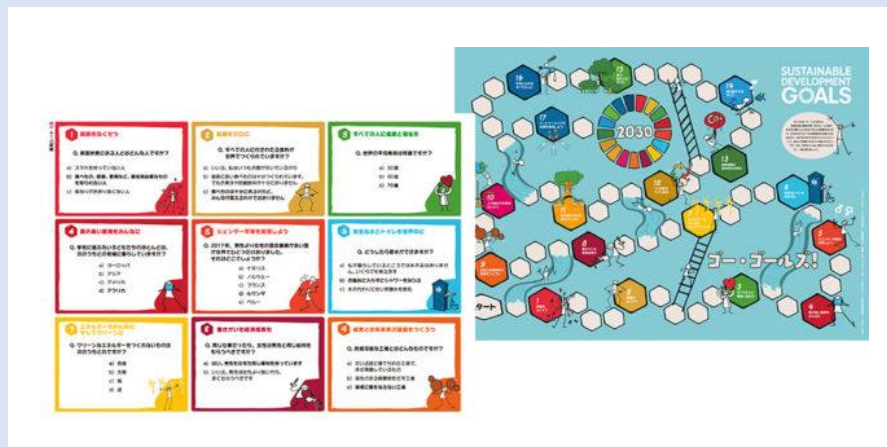
- 就学前から**幼稚園教育要領**や**保育所保育指針**にも「環境教育」に関して記載されている。
- 実践は**自治体や団体によって差**がある。

知識に限らず「実体験」の教育に期待

- ゲームなど、遊びながらSDGsについて知ることができるツールも増えてきている。

ゴー・ゴールズ！ すころくでSDGsを学ぼう

ブリュッセルの国連地域広報センター（UNRIC）がElyxの創作者ヤシン・アイトゥ・カシ（YAK）の協力を得て作成したGo Goalsを国連広報センターが日本語化。



出典：国際連合広報センター ゴー・ゴールズ

- サティスファクトリーはこどもの環境教育からおとなのSDGs人材教育まで提供



情報提供から実行支援まで
SDGs・ESGの企業対応を
支援しています。

- ✓ 何から取り組み始めればいいかわからない
- ✓ 経営層や社員への浸透に悩んでいる
- ✓ SDGs・ESG投資に関する社内セミナーや社員研修を行いたい

無料！

お問い合わせ／お見積もり

お急ぎの方はお電話で

📞 03-5542-5300

受付時間 9:00～19:30

参照・引用資料

- ・ 企業広報戦略研究所, 「2020年度 ESG/SDGsに関する意識調査」, 2019年9月 (<https://www.dentsu-pr.co.jp/csi/csi-outline/20200929.html>)
- ・ 内閣府, 「世論調査」, 2019年10月 (<https://survey.gov-online.go.jp/r01/r01-kankyau/zh/z06.html>)
- ・ 野村証券, 「若い世代はSDGs・ESGの意識が高い?」, 2020年12月 (https://www.nomura.co.jp/el_borde/real80s/0053/)
- ・ 花王, 「くらしの現場レポート」, 2019年6月 (<https://www.kao.co.jp/lifei/life/report-53/>)
- ・ エコトピア, 「最下位は日本だった? 環境問題やプラスチック問題に対する意識調査!」, 2019年6月 (<https://ecotopia.earth/article-2065/>)
- ・ 文部科学省, 「学習指導要領におけるESD関連記述」, 2020年8月 (<https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339973.htm>)
- ・ 文部科学省, 「学習指導要領とは何か?」, 2012年9月 (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/idea/1304372.htm)
- ・ The GLOBE Program Japan ホームページ (<https://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/globe/>)
- ・ 東京都教育委員会, 「環境教育」, 2020年9月 (<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/environment/bulletin.html>)

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先:

SREPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- ・ 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- ・ 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- ・ 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- ・ 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory



全従業員で
毎週更新中

<https://www.sfinter.com/report/>